

発刊にあたって

紀の国わかやま国体橋本市実行委員会

橋本市長 **平木 哲朗**



第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」は、44年ぶりに和歌山県で開催され、全国から多くの参加者をお迎えし、和歌山県の天皇杯獲得という輝かしい成果を残し、数々の感動に包まれながら盛会のうちに終了することができました。

今大会は、「東日本大震災復興支援」の冠称を掲げ、「躍動と歓喜、そして絆」を合言葉に開催されました。橋本市会場においては、被災地東北を含む、全国各地から多くの選手・監督並びに大会関係者をお迎えして、スポーツの祭典にふさわしい熱戦が各地で繰り広げられ、私たち橋本市民に大きな夢と感動を与え、大成功のうちに閉幕することが出来ました。

これも、ひとえに市民の皆さまをはじめ、関係各位のご支援とご協力によるものと深く感謝申し上げます。

本市では、国体正式競技のバレーボール競技成年・少年男子・成年女子、サッカー競技成年男子、ソフトボール競技少年女子とデモンストレーションとしてのスポーツ行事ソフトバレーボールと庭球野球T E - Y Aが開催されました。大会期間中には約4万6千人の観客が会場を埋め、記憶に残る多くの熱戦に温かい声援を送っていただきました。

大会開催にあたって、「炬火採火式」を市内小中学校で開催し、開催地の機運の盛り上げに一役を担っていただくとともに、各地域や団体による「花いっぱい運動」を始め、地元保育園・幼稚園児によるダンスの披露や小中学校による「手づくりのぼり旗・応援旗」で、会場の雰囲気づくりに大きな役割を果たしていただきました。また、大会期間中は、延べ約800人の市民ボランティアに各会場でお手伝いをしていただき、心のこもった橋本市らしい市民協働による大会運営を行うことができました。ご協力をいただいた多くの皆さまに心から感謝申し上げます。

本報告書は、全国各地から訪れた皆さまや参加した方々の感動と、市民の皆さまとともに取り組んできた「紀の国わかやま国体」の足跡を、永く後世に伝えるため発行したものであります。ぜひご高覧を賜れば幸いに存じます。

今後は、本国体で得られた貴重な経験を生かし、誰もが楽しめるスポーツの振興を通じて、「住んでよかった 住みたくなる」が実感できる「元気なまち橋本市」の実現に向けて、魅力あるまちづくりを進めてまいります。

終わりに、大会の開催に向けて長期間にわたりご尽力いただいた関係各位に敬意を表し、発刊にあたってのご挨拶といたします。